

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和8年度 第1回滋賀県がん診療連携協議会		
開 催 期 間	令和8年8月25日（火） 15：00～16：00		
開 催 方 法	ZoomによるWeb開催		
出 席 者	【会員】 滋賀県立総合病院 足立 壯一（会長） 滋賀医科大学医学部附属病院 野崎 和彦（副会長） 大津赤十字病院 小川 修（副会長） 市立長浜病院 高折 恭一 高島市民病院 武田 佳久 一般社団法人滋賀県医師会 高橋 健太郎 一般社団法人滋賀県歯科医師会 中村 彰彦 一般社団法人滋賀県薬剤師会 木村 昌義 公益社団法人滋賀県看護協会 草野 とし子 公益社団法人滋賀県診療放射線技師会 武田 宣明 公益社団法人滋賀県臨床検査技師会 梅村 茂人 一般社団法人滋賀県歯科衛生士会 土屋 奈美 滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井 津多子 滋賀県がん患者団体連絡協議会 柳田 英代 滋賀県健康医療福祉部 山田 忠利（代理：切手 俊弘） 【部会長】 大津赤十字病院 辻 將公（地域連携部会長） 滋賀県立総合病院 北条 雅人（がん登録推進部会長） 滋賀医科大学医学部附属病院 醍醐 弥太郎（診療支援部会長） 滋賀医科大学医学部附属病院 丸尾 良浩（研修推進部会長） 滋賀県立総合病院 花木 宏治（緩和ケア推進部会長） （敬称略）		
欠 席 者	【会員】 公立甲賀病院 辻川 知之 彦根市立病院 中野 顯 【部会長】 滋賀県立総合病院 山内 智香子（相談支援部会長） （敬称略）		
議 事 概 要	【報告事項】 1. 令和8年度の取組について 厚生労働省の「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（別添）」の「6 医療の質の改善の取組及び安全管理」において、「医療の質の改善の取組、及び安全管理」が通知され、都道府県がん診療連携拠点病院 連絡協議会規約第3条において、「PDCAサイクル」から「医療の質の改善」に変更となっている。そこで昨年度に引き続き、各施設における医療安全対策、第三者評価、患者窓口の設置、患者からの苦情や相談に応じられる体制について確認し、今年度においても、全病院が体制を整えていることを確認した。 協議会・企画運営委員会および各部会より今年度の取組みについて報告あり。 （協議会・企画運営委員会） PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。協議会・企画運営委員会を年2回、リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学、滋賀県がん医療フォーラムへの参加・開催予定。		

(相談支援部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。がん相談支援の充実を目標とする。部会、ワーキンググループをそれぞれ年2回程度開催、がん相談員研修会を年度末に開催予定。

(地域連携部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの年間目標としては、地域連携パスの目標を150件とし、大腸がんパスの見直しを予定。前年度のアンケート調査結果に基づき、評価・分析を行い、がん診療連携における情報共有の充実に努める。また、アンケート結果を基にした今後のワーキンググループ活動も予定している。

(がん登録推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランについては、がん登録実務のスキルアップおよびがん登録の標準化と精度向上の推進を目標とする。今年度は部会2回、研修会2回実施予定。第1回部会を7月24日に開催した。医療提供体制の均てん化・集約化に関し、医療機関ごとの診療実績について院内がん登録データを用いて公表することを検討している。

(診療支援部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの目標をがん診療の支援と高度医療の推進とする。第1回部会を6月22日に開催した。第2回はZoom形式またはメールでの意見交換を予定している。がん情報を「がん情報しが」に掲載し、今後がんゲノム医療の情報共有も行う。PDCAサイクルについては、各診療支援部会および各病院のコンテンツ投稿数を数値目標とし、今年度もサイトの充実を図る。

(研修推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。アクションプランの目標を各種研修に関する調整と計画の作成とする。部会の開催はZoom形式とし、第1回部会を7月21日開催した。第2回は2月1日を予定している。また、看護ワーキングの第1回を7月7日から7月24日までメール会議にて実施した。PDCAサイクルについては、各医療機関、団体が主催する講演会、研修会等の参加人数ならびに満足度とし、「がん情報しが」に掲載しているがん関連の講演会・研修会の最新情報を項目ごとに一覧化し、結果の集計を行う予定。

(緩和ケア推進部会)

PDCAチェックリスト、アクションプランについて説明。第1回部会を6月25日に集合形式にて開催済み。次回以降はZoom形式を予定している。県内のがん診療連携拠点病院等において、緩和ケア研修会を実施する。そのほかの研修やイベントとして、世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座、緩和ケアチーム研修会、ELNEC-J研修会を開催する予定。

2. がん診療の均てん化・集約化に係る協議と県内の実態調査について

診療支援部会より、厚生労働省の「がん医療提供体制の均てん化・集約化」に関する基本方針に基づく、滋賀県における外科治療および放射線治療に関する実態調査開始について報告あり。

外科治療においては、外科医師の総数は増加傾向にあるが、若手の外科離れや医師の高齢化により手術を行える外科医の数はほぼ変化なく、2040年には全国で外科医が大幅に不足すると予測されている。このため、集約化および均てん化の検討が急務となっている。

放射線治療においては、機器の高額化や人件費の高騰により採算性（年間患者200人以上が維持ラインとされるが、国内の半数近くの医療機関が200人未満）が課題となっている。また、滋賀県内でも放射線治療医の一時的な不足が見られたことから、実態把握が必要である。

そこで、外科治療（手術）調査項目（案）として、①医師数（常勤・非常勤）・専門医数、②年間のがん手術件数（全麻）、③部位別の手術件数（食道・胃・大腸・肝臓・膵臓・胆道等）、④ロボット手術の可否及び台数、年間のロボット支援手術件数、⑤腹腔鏡手術の可否、⑥今後の課題（医師確保等）とする。

放射線治療の項目（案）として、①医師数（常勤・非常勤）・専門医数、②放射線治療専任の医学物理士、診療放射線技師数、③年間の延べ治療件数（新患、再患）、照射回数、④治療疾患（上位5位まで）、⑤IMRTの可否、⑥現有の装置名と設置年、⑦治療装置更新予定、⑧今後の課題（医師確保等）とする。

本委員会承認され、今後のスケジュールとして、8月第1回がん診療連携協議会にて附議・承認、9月上旬を目途に各拠点病院・診療支援病院へ調査依頼を送付、第2回診療支援部会で進捗報告・第3回部会（2月頃）で取りまとめ結果について協議し、企画運営委員会、がん診療連携協議会へ最終報告を行う予定。

（質問・意見）

・IMRTの実施における放射線治療医の配置人数の変化などが、今回の調査結果に影響はあるか。（市立長浜病院高折会員）

→醍醐部会長：大きな影響ないと考えている。県内の状況により体制の厳しさなどが浮き彫りになった場合は、必要に応じて追加調査を検討する。（滋賀医科大学医学部附属病院醍醐部会長）

・実態把握のためのデータ収集には賛成である。ただし、地域医療構想の議論と同様に、情報を集めても具体的な動きがないのではないかと懸念がある。（大津赤十字病院小川副会長）

→ご指摘の通り、集約化の議論は各病院にとって非常に重要で繊細な問題であり、まずは正確な現状データを揃え、今後の建設的な議論の叩き台としたい。（滋賀県立総合病院足立会長）

3. 第18回滋賀県がん医療フォーラムの予定について

令和9年1月30日（土）13時30分より現地開催予定。会場は栗東文化芸術会館サキラの中ホールで定員400名の予定。

特別講演として、お笑い芸人のワッキー氏に登壇を依頼し、同氏の闘病生活および仕事復帰に至るまでの経緯についてご講演いただく。基調講演は京都大学医学部附属病院 消化管外科 特定助教 山本健人先生、講演は滋賀県がん患者団体連絡協議会会長より推薦のあった会員の方（顔写真、氏名非公開）に仕事と治療の両立等に関してご講演いただく。閉会の挨拶については、滋賀医科大学医学部附属病院 野崎和彦病院長に依頼している。

4. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2026滋賀医科大学について

・令和8年10月10日（土）～11日（日）に現地開催予定。

・「がん患者は24時間がんと向き合っている」ということをコンセプトに、タスキをつないでコースを24時間歩くイベントであり、ブース出展や学生企画、公開講座等が企画されている。がん診療連携協議会としてもブース出展等で参加予定。事務局よりがん相談員のスタッフ協力を依頼。

・入場料無料、参加協力金が一般1,000円となっており、寄付金はイベント開催経費を除いた全額を日本対がん協会へ寄付し、がん征圧のための活動に利用される。

5. 県からの報告事項

滋賀県健康医療福祉部より、県の取組状況の報告があった。滋賀県は現在「第4期がん対策推進計画」に沿って事業を進めている。「がん予防・がん検診の充実」「患者本位のがん医療の実現」「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」を3大柱としている。

今年度は計画の中間評価の年にあたるため、本協議会での意見や集約化に関する議論を反映させつつ、次期計画も見据えた進捗評価を行っていく。

	(意見) ・集約化の議論については、県としても非常に重要なテーマと捉えている。本協議会と密に連携し、地域医療構想など上位の計画とも整合性を図りながら、実効性のあるがん医療提供体制を検討していきたい。(滋賀県健康医療福祉部切手会員) <今回の意見> ・均てん化・集約化に係る実態調査については望ましいと考える。「がん患者が納得して最適な治療を受けられるか」が常に重要となるため、協議を進める上でも、その方向性を見失わないようにしていただきたい。(滋賀県がん患者団体連絡協議会菊井会員) ・令和8年度第1回がん対策推進協議会は、10月後半から11月前半を目途に開催する予定。(滋賀県健康医療福祉部)
そ の 他	【次回開催予定】 令和9年3月予定。

以上のとおり報告します。

令和8年 8月 25日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 足立 壮一